



園芸

Point

高品質なネギを栽培するため、
播種後から定植前の苗管理を万全にしましょう!

今月
営
ポイ



秋田地区営農センター 主任 澤田石 仁

初灌水(播種直後の灌水)

育苗トレー内の水が均一になるように、2~3回に分けて下層に浸み込むよう緩やかな灌水を行きましょう。トレーの下から水がじんわり染み出る程度が、適量となります。

● 注意点

- ・ 初灌水を過剰に行うと、種子の酸素欠乏による不発芽や発芽不良、遅れの原因となるため、注意を払いましょう。



芽出し期間

発芽適温の15~25℃と適度な水分を維持することが重要です。不織布やポリなどの被覆によって保温しましょう。

● 注意点

- ・ 芽出し中に乾燥してきた場合は、播種直後と同様に灌水してください。
- ・ 低温すぎると発芽が遅くなり、高温すぎると発芽できなくなります。
- ・ 乾燥しすぎると発芽のばらつき(ムラ)が大きくなり、被覆除去後の灌水で水が入りにくくなります。

育苗期間(初期~中期)

20~25℃が生育適温であり、30℃以下となるように注意してください。灌水は均一に、適度な水分量を心がけましょう。

● 注意点

- ・ ネギの苗は比較的乾燥に強いので、育苗初期(第2葉が出るくらいまで)の灌水は控えめで構いません。灌水回数を減らし、しっかり均一に灌水することで、根鉢内の気相が入れ替わり(新鮮な空気が入り)、根の伸長がよくなります。
- ・ 灌水量や頻度が多すぎると、肥料の効きすぎによる徒長や軟弱化、育苗後半の肥切れ(灌水過多による肥料の流亡)に繋がります。
- ・ 多灌水によって過湿になると、培土の表面に藻類が発生しやすくなり、苗の生育不良が起きやすくなります。



育苗期間(後期~定植前)

定植に備えて根を張らせる時期です。定植前にはたっぷりと灌水を行ってください。

● 注意点

- ・ 育苗後期に灌水が多いと、肥料が効きすぎて草丈が伸び、軟弱苗になりやすくなります。必要であれば剪葉してください。
- ・ 灌水は根が傷まない程度にやや控えめにして、定植直前は活着をスムーズにするためにたっぷり灌水しましょう。
- ・ 長期育苗で肥切れ症状が出てきたときは、追肥をしてください。



播種・定植と収穫開始時期の目安(品種:夏扇パワー)

播種	昨年11月	2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月中下旬	4月上旬
定植	3月下旬	4月上旬	4月下旬	5月上中旬	5月下旬	6月上中旬
収穫開始	7月上中旬	7月下旬~ 8月上旬	8月中下旬	9月上旬	10月中下旬	11月上中旬

※ハウス育苗温度と灌水管理、定植後の外気平均気温と地温、圃場の地力などにより、生育の差があらわれます。